

20 ウミガメとタマゴ

指定 昭和 46 年 5 月 24 日 町指定天然記念物(動物)
所在地 栗生海岸
管理者 屋久島町

ウミガメの起源は、1 億数千万年前といわれ、非常に長い歴史を持つ生き物である。現在、世界で 8 種類が生息しており、日本近海では、アオウミガメ・タイマイ・アカウミガメ・ヒメウミガメ・オサガメの 5 種類が確認されている。「絶滅の恐れのある野生動植物の種の保存に関する法律」において、「国際希少野生動植物」に指定されるとともに、環境庁が編集した「日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—」では、アカウミガメ・アオウミガメ・タイマイが「希少種」として位置づけられている。

栗生海岸一帯に上陸するウミガメは、ほとんどがアカウミガメで、体重 200 キロ以下である。夏期、海浜の砂地を掘り、100～200 個の球形の卵を産み、約 45 日で自然孵化する。